

2014年3月期 第2四半期 決算説明資料

2013年11月26日
文化シヤッター株式会社

目 次

2014年3月期 第2四半期の実績について P 1

事業環境について	P 2
業績について	P 3
売上高及び営業利益の増減要因	P 4
セグメント別売上高及び営業利益	P 5
売上高の用途別セグメント別増減分析	P 6

2014年3月期の見通しについて P 7

事業環境予測について	P 8
業績見通しについて	P 9
売上高及び営業利益の増減要因	P10
セグメント別状況	P11

重点施策の取り組みについて P12

重点施策 ① スtock市場への対応強化と高付加価値商品の拡販	P13
重点施策 ② シャッター事業の強化	P14
重点施策 ③ ドア事業の強化	P15
重点施策 ④ 企業コストの削減(BXTGR)の取組強化	P16
重点施策 ⑤ 不二サッシ株式会社とのシナジー効果	P17
重点施策 ⑥ 海外事業の展開	P18
重点施策 ⑦ 「エコ&防災」太陽光発電システム事業の取組強化	P19
重点施策 ⑧ 「エコ&防災」止水事業の取り組み強化	P20

参考資料 参- 1

文化シャッターグループ概要	参- 2
文化シャッターグループの構成と海外事業展開	参- 3
連結貸借対照表	参- 4
連結キャッシュフロー計算書	参- 5
シャッター関連製品の状況(主要製品)	参- 6
建材関連製品の状況(主要製品)	参- 7
サービス事業およびリフォーム事業の状況	参- 8

2014年3月期 第2四半期の実績について

事業環境について

		2014年3月期 上期		2013年3月期 上期	
		実績	前年同期比	実績	前年同期比
新設住宅着工戸数 (万戸)		49.9	112.7%	44.2	102.4%
	持ち家 (万戸)	18.2	113.5%	16.1	99.3%
非住宅着工床面積 (万㎡)		2,914	112.4%	2,592	103.9%
	医療・福祉 (万㎡)	520	123.2%	422	72.0%
	工場・倉庫 (万㎡)	789	103.2%	764	116.4%

◆ 経済環境は、

政府による金融緩和策や経済政策への期待感から円安が進行し、株価が上昇するなど、穏やかながら景気回復の兆しが見られた。

その一方で、海外経済の鈍化や円安による原材料価格の上昇、さらには来年度からの消費税増税等の懸念もあり、依然として先行きの不透明感は拭い切れない状況で推移した。

◆ 建築市場は、新設住宅着工戸数が

49万9千戸と4年連続の増加で推移。非住宅着工床面積は、2千9百14万㎡と4年連続の増加で推移。

2014年3月期 第2四半期の業績について

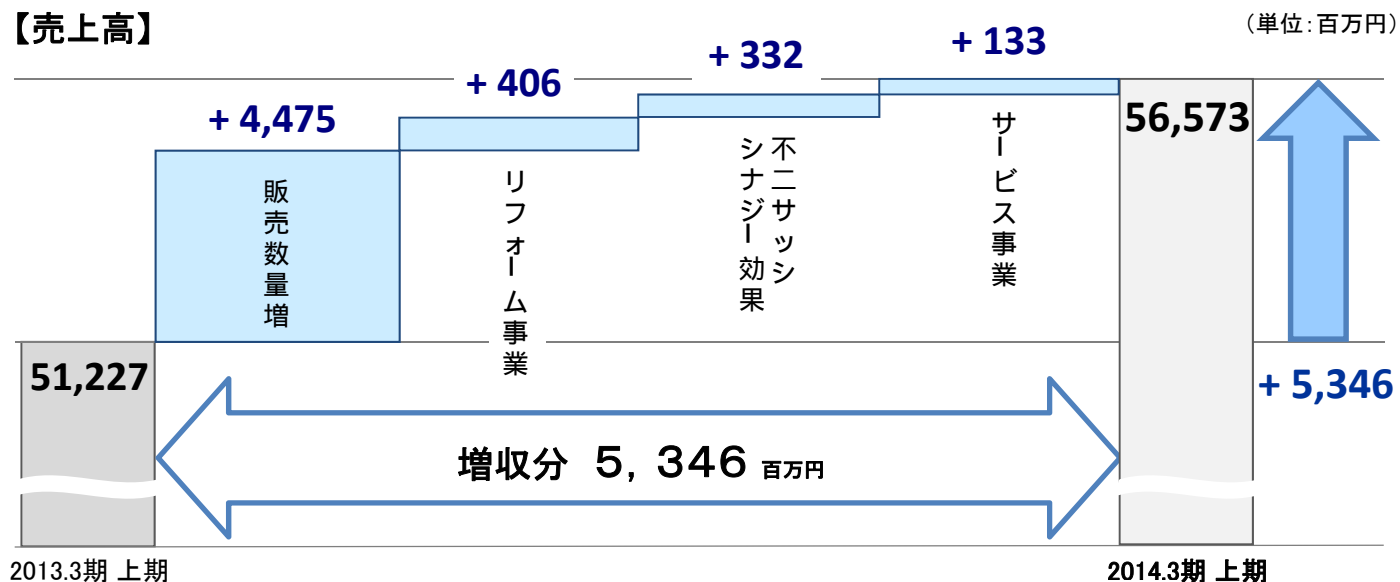
(単位:百万円)

		2014年3月期 上期			2013年3月期 上期	
		実績	売上比	前年同期比	実績	売上比
売上高		56,573	100.0%	110.4%	51,227	100.0%
売上原価		41,513	73.4%	111.1%	37,355	72.9%
売上総利益		15,060	26.6%	108.6%	13,872	27.1%
販売費及び一般管理費		12,429	22.0%	104.2%	11,926	23.3%
営業利益		2,630	4.6%	135.2%	1,945	3.8%
経常利益		2,802	4.9%	130.8%	2,142	4.2%
当期純利益		1,583	2.8%	125.9%	1,257	2.5%
1株当たり配当金		6円		+2円	4円	
設備投資額		1,207		221.1%	546	
減価償却費		766		104.9%	730	
期末従業員 (人)	正社員	3,359		+75	3,284	
	臨時雇用者	879		+126	753	
	合計	4,238		+201	4,037	

- ◆ 売上高は、3期連続の増収。
- ◆ 営業利益、経常利益、当期純利益は、4期連続の増益。
- ◆ 1株当たり配当金は、2円増配の6円。
- ◆ 設備投資額は、工場設備の合理化及び更新などで5億6千5百万円、太陽光発電システム事業への投資で2億8千7百万円など、合計で12億7百万円。

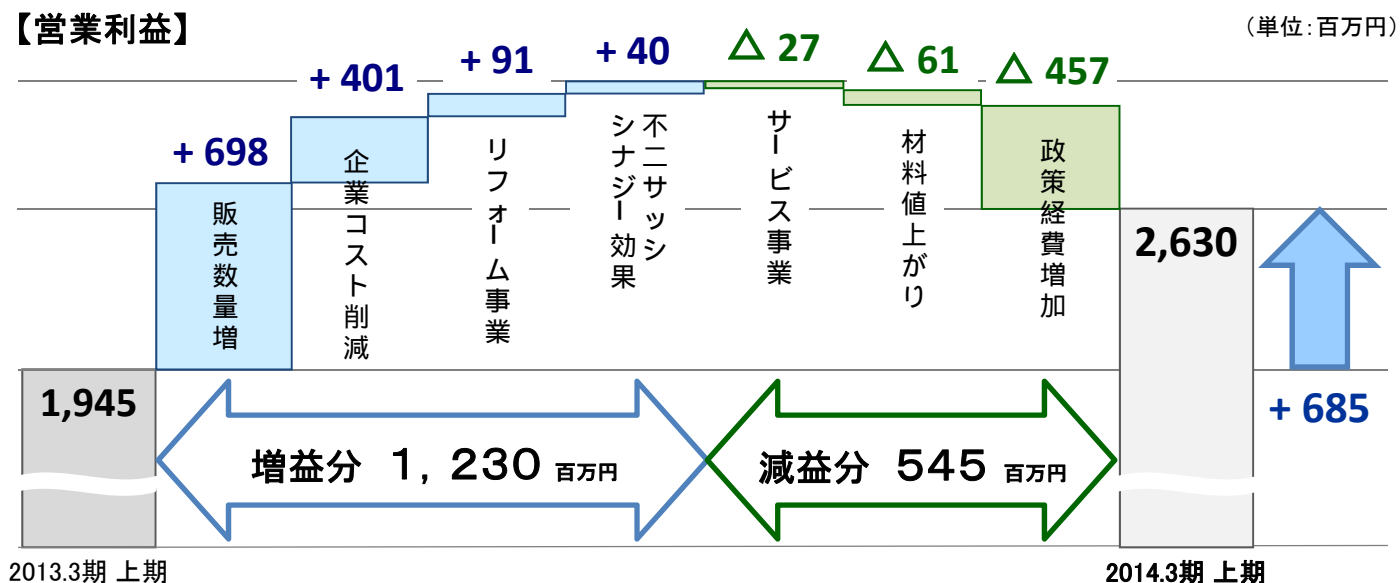
売上高及び営業利益の増減要因

【売上高】



- ◆ 売上高は、
「販売数量の増加」
「リフォーム事業の売上拡大」
などが寄与し、
53億4千6百万円の増収。

【営業利益】



- ◆ 営業利益は、
「販売数量の増加」
「企業コストを削減する取組」
などが寄与し、
6億8千5百万円の増益。

セグメント別売上高及び営業利益

(単位:百万円)

		2014年3月期 上期		2013年3月期 上期	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益
シャッター関連製品事業		22,297	2,558	19,657	2,381
	伸 率	113.4%	107.4%	109.5%	149.6%
	伸 額	2,640	177	1,711	790
建 材 関 連製品事業		20,797	497	19,206	61
	伸 率	108.3%	813.2%	128.1%	—
	伸 額	1,591	436	4,213	209
サ ー ビ ス 事 業		6,721	489	6,588	516
	伸 率	102.0%	94.7%	102.1%	102.5%
	伸 額	133	△ 27	133	13
リフォーム事業		5,081	256	4,675	165
	伸 率	108.7%	155.2%	100.3%	109.8%
	伸 額	406	91	14	15
そ の 他 事 業		1,673	59	1,099	8
	伸 率	152.2%	674.7%	117.9%	—
	伸 額	574	51	167	22
配賦不能額		—	1,229	—	1,187
合 計		56,573	2,630	51,227	1,945
	伸 率	110.4%	135.2%	113.9%	223.3%
	伸 額	5,346	685	6,237	1,074

- ◆ シャッター関連製品事業は、大規模商業施設や大型物流倉庫向けの重量シャッター、さらには防火シャッターに装備されるバッテリー不要の機械式危害防止装置「エコセーフ」などの安全対策商品の拡販により、増収増益。
- ◆ 建材関連製品事業は、大規模商業施設やオフィスビル向けの「スチールドア」や「パーティション」が好調に推移したこと等により、増収増益。
- ◆ サービス事業は、アフターメンテナンスや修理対応等が堅調に推移したものの、事業強化による要員増の影響等により増収減益。
- ◆ リフォーム事業は、定額パッケージ商品の拡充とリピートオーダーを押し進める取り組みが堅調に推移し、増収増益。
- ◆ その他事業は、太陽光発電システム事業と止水事業が好調に推移したこと等により、増収増益。

売上高の用途別セグメント別増減分析

(単位: 億円)

		増減収	大型商業施設 工場倉庫向け	医療福祉 学校向け	オフィスビル 公共施設向け	その他 (住宅向け等)
増 収 額 合 計	増 減	53.5	23.7	8.3	4.0	17.5
売 上 高 合 計	売 上 高	565.8	190.8	79.3	58.4	237.3
シャッター関連事業 計	増 減	26.4	20.1	2.7	△ 1.0	4.6
	売 上 高	223.0	113.7	11.2	10.0	88.1
	軽 量 シ ャ ッ タ ー 群	増 減	0.8	0.0	△ 0.1	0.7
		売 上 高	73.3	33.1	3.4	35.4
	重 量 シ ャ ッ タ ー 群	増 減	17.0	15.3	△ 0.5	0.9
		売 上 高	89.1	63.2	4.4	17.4
	窓 シ ャ ッ タ ー 群	増 減	3.0	—	—	3.0
		売 上 高	27.2	—	—	27.2
	シ ャ ッ タ ー 関 連 群	増 減	5.6	4.6	△ 0.4	0.0
		売 上 高	33.4	17.4	2.2	8.1
建 材 関 連 事 業 計	増 減	15.9	2.7	4.5	4.1	4.6
	売 上 高	208.0	36.6	64.3	35.8	71.3
	エ ク ス テ リ ア 群	増 減	1.3	—	—	1.3
		売 上 高	33.8	—	—	33.8
	ド ア ・ パ ー テ ィ シ ョ ン 群	増 減	14.6	2.7	4.1	3.3
	売 上 高	174.2	36.6	64.3	35.8	37.5
サ ー ビ ス 事 業 計	増 減	1.3	0.3	0.4	0.4	0.2
	売 上 高	67.2	35.5	2.5	11.4	17.8
リ フ ォ ー ム 事 業 計	増 減	4.1	—	—	—	4.1
	売 上 高	50.8	—	—	—	50.8
そ の 他 事 業 計	増 減	5.8	0.6	0.7	0.5	4.0
	売 上 高	16.8	5.0	1.3	1.2	9.3

◆「大型商業施設、工場・倉庫向け」は、重量シャッターが好調に推移し、190億8千万円と23億7千万円増収。

◆「医療福祉・学校向け」は、ドア・パーティション群のバリアフリー対応引き戸「カームスライダー」が好調に推移し、79億3千万円と8億3千万円増収。

◆「オフィスビル・公共施設向け」は、スチールドアとパーティションが好調に推移し、58億4千万円と4億円増収。

◆「その他住宅向け等」は、窓シャッター、住宅向けドア、リフォーム事業が好調に推移し、237億3千万円と17億5千万円増収。

2014年3月期の見通しについて

2014年3月期 事業環境予想について

	2014年3月期		2013年3月期	
	11月予想	前期比	実績	前期比
新設住宅着工戸数（万戸）	95.1	106.5%	89.3	106.2%
持ち家（万戸）	34.3	108.5%	31.6	103.8%
非住宅着工床面積（万㎡）	5,668	108.9%	5,203	109.5%

- ◆ 新設住宅着工戸数は、消費税増税による駆け込み需要や復興需要等が下支えとなって緩やかに回復する見込みから、106.5%の95万1千戸を予想。
- ◆ 非住宅着工床面積は、物流倉庫や大型商業施設を中心に緩やかに回復する見込みから、108.9%の5千6百68万㎡を予想。

新設住宅着工戸数の予想値は、住宅生産団体連合会のデータを引用
非住宅着工床面積は、建設経済研究所のデータを元に試算

業績の見通しについて

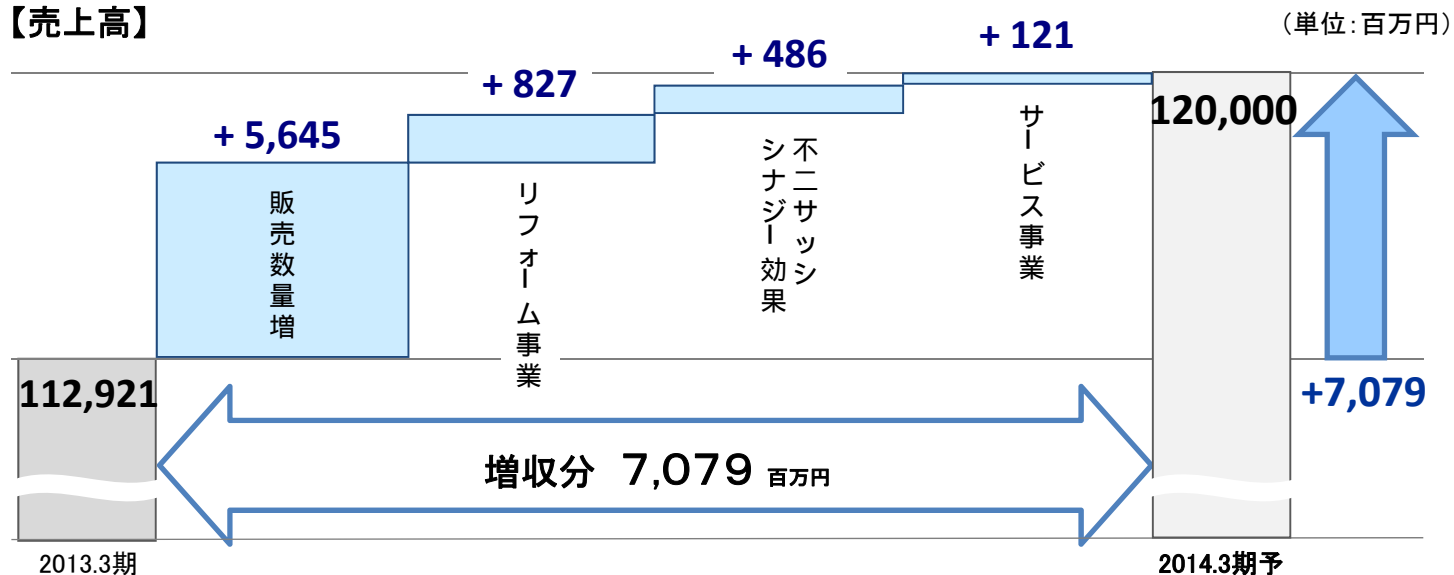
(単位:百万円)

		2014年3月期							2013年3月期			
		下期予想	売上比	前年同期比	通期予想	売上比	前期比		下期実績	通期実績	売上比	
							伸率	伸額				
売	上	高	63,427	100.0%	102.8%	120,000	100.0%	106.3%	7,079	61,694	112,921	100.0%
売	上	原 価	46,287	73.0%	101.0%	87,800	73.2%	105.6%	4,637	45,808	83,163	73.6%
売	上	総 利 益	17,140	27.0%	107.9%	32,200	26.8%	108.2%	2,442	15,886	29,758	26.4%
販売費及び一般管理費			12,771	20.1%	103.7%	25,200	21.0%	104.0%	958	12,316	24,242	21.5%
営	業	利 益	4,370	6.9%	122.4%	7,000	5.8%	126.9%	1,485	3,570	5,515	4.9%
経	常	利 益	5,097	8.0%	109.9%	7,900	6.6%	116.5%	1,121	4,637	6,779	6.0%
当	期	純 利 益	4,417	7.0%	80.6%	6,000	5.0%	89.1%	△ 734	5,477	6,734	6.0%
1株当たり配当金			6円			12円		－	2円	6円	10円	
設 備 投 資 額			1,793			3,000		162.6%	1,155	1,299	1,845	
減 価 償 却 費			984			1,750		112.5%	194	826	1,556	
期 末 従 業 員 (人)	正 社 員	－				3,330		－	34	－	3,296	
	臨時雇用者	－				910		－	91	－	819	
	合 計	－				4,240		－	125	－	4,115	

- ◆ 売上高は、前期比106.3%の1千2百億円を見込む。
- ◆ 営業利益は、前期比126.9%の70億円。営業利益率は、0.9ポイントアップの5.8%を見込む。
- ◆ 1株当たりの配当金は、2円増配の12円を見込む。
- ◆ 設備投資額は、30億円を計画。

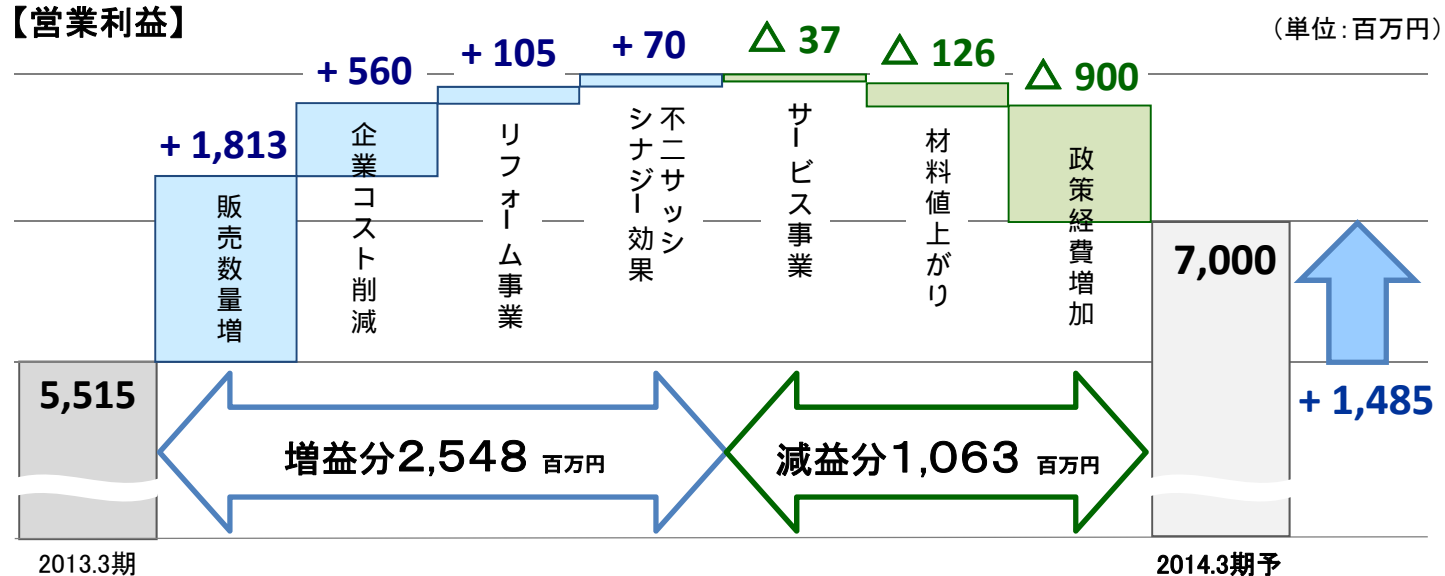
売上高及び営業利益の増減要因

【売上高】



◆ 売上高は、「販売数量の増加」「リフォーム事業」の売上拡大などにより、70億7千9百万円の増収を見込む。

【営業利益】



◆ 営業利益は、「販売数量の増加」「企業コスト削減」の取り組みなどにより、14億8千5百万円の増益を見込む。

セグメント別状況

(単位:百万円)

【売上高】	2014年3月期				2013年3月期			
	上期実績	伸率	通期予測	伸率	上期実績	伸率	通期実績	伸率
シャッター関連製品事業	22,297	113.4%	45,700	109.7%	19,657	109.5%	41,663	107.3%
建 材 関 連 製 品 事 業	20,797	108.3%	46,800	103.5%	19,206	128.1%	45,203	118.4%
サ ー ビ ス 事 業	6,721	102.0%	14,000	100.9%	6,588	102.1%	13,879	103.9%
リ フ ォ ー ム 事 業	5,081	108.7%	10,400	108.6%	4,675	100.3%	9,573	98.1%
そ の 他 事 業	1,673	152.2%	3,100	119.1%	1,099	117.9%	2,602	116.0%
合 計	56,573	110.4%	120,000	106.3%	51,227	113.9%	112,921	110.3%

【営業利益】								
シャッター関連製品事業	2,558	107.4%	6,250	117.8%	2,381	149.7%	5,305	141.7%
建 材 関 連 製 品 事 業	497	813.2%	1,200	163.5%	61	-	734	-
サ ー ビ ス 事 業	489	94.7%	1,400	97.4%	516	102.5%	1,437	116.8%
リ フ ォ ー ム 事 業	256	155.2%	500	126.6%	165	109.8%	395	87.9%
そ の 他 事 業	59	674.7%	150	136.4%	8	-	110	563.5%
配賦不能額	1,229	103.5%	2,500	101.3%	1,187	98.0%	2,467	101.6%
合 計	2,630	135.2%	7,000	126.9%	1,945	223.3%	5,515	201.4%

【受注残高】								
シャッター関連製品事業	13,294	115.9%	12,500	115.7%	11,475	121.9%	10,800	123.7%
建 材 関 連 製 品 事 業	28,227	122.6%	26,500	132.1%	23,027	115.8%	20,059	120.3%
サ ー ビ ス 事 業	1,582	84.1%	1,600	85.9%	1,881	110.8%	1,862	111.0%
リ フ ォ ー ム 事 業	1,567	145.7%	1,500	116.0%	1,075	88.8%	1,293	116.4%
そ の 他 事 業	814	227.6%	900	151.5%	357	91.9%	594	226.7%
合 計	45,486	120.3%	43,000	124.2%	37,817	116.0%	34,610	121.6%

【受注高】								
シャッター関連製品事業	24,791	110.7%	47,400	108.4%	22,402	116.3%	43,733	110.9%
建 材 関 連 製 品 事 業	28,966	113.4%	53,241	109.6%	25,553	128.9%	48,581	122.0%
サ ー ビ ス 事 業	6,441	94.8%	13,738	97.7%	6,791	102.9%	14,064	104.3%
リ フ ォ ー ム 事 業	5,355	115.4%	10,607	108.7%	4,640	99.7%	9,755	101.1%
そ の 他 事 業	1,894	158.5%	3,406	116.1%	1,194	118.2%	2,934	133.6%
合 計	67,449	111.3%	128,390	107.8%	60,583	118.0%	119,069	113.8%

- ◆ 通期の「売上高」は、全セグメントにおいて増収を見込む。
- ◆ 通期の「営業利益」は、サービス事業を除く全セグメントにおいて増益を見込む。
- ◆ 上期の「受注残高」は、前年同期比120.3%の454億8千6百万円と、76億6千9百万円増加。
- ◆ 通期の「受注高」は、前期比107.8%の1千283億9千万円と、93億2千1百万円の増加を見込む。
- ◆ よって、通期の「売上高」は前期比106.3%、70億7千9百万円増収の1千2百億円、「営業利益」は前期比126.9%、14億8千5百万円増益の70億円を見込む。

重点施策の取り組みについて

重点施策① スtock市場への対応強化と高付加価値商品の拡販



いまお使いの雨戸を取り外すことなく、スピーディーかつ低コストでお取り替えできるリフォーム専用の電動タイプの窓シャッター「ヨコタデ」

Stock市場への対応強化

- ・「電動化」をキーワードに、快適にお使い頂けるリフォーム対応商品をStock市場に積極投入し、売上の拡大につなげる。
- ・防災気運の高まりを受け、BXグループの強みであるメンテナンス及びリニューアル体制で、地域密着型の提案営業を実践する。
- ・上期の「Stock市場向け」売上高は、前年同期比104.8%の118億円と堅調に推移。
- ・通期の「Stock市場向け」売上高は、前期比104.0%の244億円をめざす。



高付加価値商品の拡販

- ・「安心・安全・快適」にお使い頂ける高機能タイプの商品を「高付加価値商品」と位置づけ、該当する11種類の商品を拡販することで収益の拡大を図る。
- ・高付加価値商品の機能や性能をお客様にわかりやすくご提案するため、本格運用を開始した「タブレット端末」を有効活用する。
- ・上期の「高付加価値商品」の売上高は、前期比100.0%の70億円とほぼ横ばい。
- ・通期の「高付加価値商品」の売上高は、前期比104.7%の162億円をめざす。

■高付加価値商品

＜住宅向け＞「御前様」「フラットピット」「エスプリモート」「大静快」「電動窓シャッター」
 ＜工場・倉庫向け＞「大間迅」
 ＜医療・福祉施設向け＞「カームスライダー」「ヒクオス」「ヴァリフェイス」
 ＜その他施設向け＞「オーニング」「テクモク」

重点施策② シャッター事業の強化



非住宅市場を中心にシャッター事業を強化・拡充

- ・「シャッター事業」は、重量シャッターの拡販が牽引し、上期の売上高は前年同期比113.4%の222億円と好調に推移。
- ・通期は、物流倉庫や大型商業施設など、好調な非住宅市場を背景に、売上高は前期比109.7%の457億円をめざす。

< 重量シャッターの売上拡大 >

- ・バッテリーが不要な機械式危害防止装置「エコセーフ」の牽引もあり、上期の売上高は前年同期比136.7%の54億円と好調に推移。
- ・通期は、物流倉庫や大型商業施設を中心に、売上高は前期比131.6%の120億円をめざす。

< 窓シャッターの売上拡大 >

- ・上期は、新設住宅着工数が回復した影響もあり、売上高は112.4%の27億円と好調に推移。
- ・通期は、堅調な住宅市場を背景に、自然災害から身を守る防災商品としての提案を進めることで、売上高は前期比112.9%の57億円をめざす。

< 軽量シャッターの売上拡大 >

- ・上期は、手動タイプの減少分を電動タイプがカバーし、売上高は100.8%の73億円とほぼ横ばい。
- ・通期は、住宅ガレージ向け電動タイプの「御前様」「エスプリモート」等を拡販することで、売上高は前期比105.8%の151億円をめざす。



重点施策③ ドア事業の強化

BXグループのドア生産・供給体制

文化シャッター(御着工場)

ティアール建材

BX鐵矢

BX文化パネル

BX東北鐵矢

BXケンセイ

BX朝日建材

BX 紅雲

BX BUNKA
VIETNAM



ドアの生産・供給体制の強化

- ・BXブランドの浸透を図るため、10月より6社が「BX」を冠した社名に変更。
(ティアール建材は来年4月よりBXティアールに変更)
- ・スチールドアについて、グループ内での生産体制を整備し、供給体制の強化を図る。



「カームスライダー」



「ヴァリフェイス」



「スチールドア」

ドア事業は体質化した採算重視の受注活動を継続することで収益を拡大

- ・上期は、体質化した採算重視の受注活動により、売上高は前年同期比106.0%と好調に推移。
- ・9月末時点のドアの受注残高は、病院・福祉施設向けの引き戸「カームスライダー」と、主に大型商業施設向けの「スチールドア」を中心に46億円増加。
- ・通期は、採算重視の受注活動の継続と、付加価値の高いドア等の拡販により、売上高は前期比105.1%の318億円をめざす。

重点施策④ 企業コスト削減（B X T C R）の取り組み強化

（億円）

	2013.3期	2014.3期		主な施策
		上期実績	通期予想	
製造・開発部門コスト削減	11.7	3.1	4.0	材料コスト削減 製品VE ムダ、ムラの削減
販売部門コスト削減	0.5	0.4	0.8	商品仕入れ見直し
設計・施工部門コスト削減	2.5	0.1	0.2	作図生産性向上 施工生産性向上
一般固定費削減	1.5	0.3	0.6	BXTCR活動 （契約単価見直し等）
企業コスト削減の合計	16.2	4.0	5.6	

重点施策⑤ 不二サッシ株式会社とのシナジー効果追求

止水シートが標準装備された
止水・耐水フロント「Fフロント(水防タイプ)」



左) 11月1日に開催したマスコミ向け新商品発表会では、水槽に設置したフロントに実際に水を溜め、止水・耐水性能をご確認頂いた
右) 新商品の前で握手する協業委員長の文化シャッター(株)藤山常務と不二サッシ(株)大江常務(左)

商品の相互販売による売上拡大

- ・プロモーターを活用したエリア主導の協業体制のもと、両社の商品を相互販売する取り組みにより、上期の売上高は前年同期比118.5%の21億2千万円、営業利益は130.8%の1億7千万円と好調に推移。

共同で開発した新商品を発売開始

- ・両社が共同で開発した「止水性能」と「耐水圧性能」を有した業界初の止水・耐水フロント「Fフロント(水防タイプ)」を11月より発売開始。
- ・止水・耐水フロント「Fフロント(水防タイプ)」は、文化シャッターの強みである「止水技術」と不二サッシの強みである「フロント技術」を融合したオリジナル商品。
- ・ゲリラ豪雨対策のソリューションとして積極的に提案することで、初年度の売上目標1億円をめざす。

シナジー効果を追求

- ・新商品を武器に両社のシナジー効果をさらに追求、加速させることで、通期の売上高は前期比110.9%の50億円、営業利益は118.9%の4億4千万円をめざす。

重点施策⑥ 海外事業の展開



左)BX文化ベトナムの工場外観
右)高速シートシャッター「大間迅」の
シート加工の様子



ベトナムにおける事業展開

- ・日系企業向けを中心にBXブランドの浸透を図る取り組みを進めてきた結果、上期は高速シートシャッター「大間迅」が前年同期比249.9%と大幅に伸びるなど、売上高は前年同期比162.5%と好調に推移。
- ・通期は、売上高は前期比182.8%の5億3千万円と黒字化の達成に向け、ラストスパートをかける。



合併会社設立調印式
で握手する茂木社長
とグライダー社の
劉代表

■合併会社の概要

社名	BX BUNKA TAIWAN Co.,Ltd.
所在地	中華民国桃園県
代表者	神田 潤一郎
事業内容	各種シャッター製品の販売、メンテナンス
設立年月	2013年12月
資本金	3千万台湾ドル(9千9百万円)
出資比率	文化シャッター 70% グライダー社 30%



昨年12月には台湾
で開催された国内
最大の展示会「台
北国際建築建材
産品展」に各種製
品を出展

台湾市場に参入

- ・中国経済の成長を取り込みながら安定的な経済成長を続ける台湾に、住宅用シャッター市場でトップシェアを占めるグライダー社との合併会社「BX BUNKA TAIWAN」を設立。
- ・台湾で知名度の高いグライダー社と共同事業を推進することで、台湾にBXブランドの浸透を図る。
- ・初年度(決算期12月)は、売上高1億3千万円をめざす。

重点施策⑦ 「エコ&防災」太陽光発電システム事業の取り組み強化

(株)シーエナジーとの共同事業により発電規模1,512kw(一般家庭で年間約410世帯分)のソーラーパネルを掛川工場の屋根に設置



試験検証施設「ライフインセンター」の屋根に設置



新潟県柏崎市の遊休地に建設中の
西山太陽光発電所



香川県高松市の遊休地に建設中の
高松太陽光発電所

対象エリアを拡大して事業を拡充

- ・太陽光発電システム事業を拡充するため、対象エリアを関東から中部、関西、九州、東北に拡大する。
- ・上期の売上高は、通期予想を上回る4億6千万円を達成。
- ・通期は、売上高は前期比5億円増の6億5千万円、受注高は前期比4億円増の8億5千万円をめざす。

グループ施設や遊休地を活用して地域社会に貢献する

- ・グループ施設(掛川工場、ライフインセンター)や遊休地(新潟県柏崎市、香川県高松市)への太陽光発電システムの設置により、地域特性や建物への設置条件を検証し、設置ノウハウを蓄積する。
- ・安心かつ安全な再生可能エネルギーを提供することで、地域社会に貢献する取り組みを推し進める。

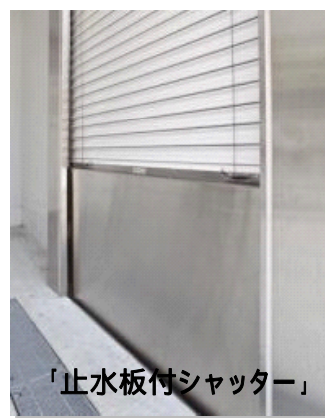
重点施策⑧ 「エコ&防災」 止水事業の取り組み強化



簡易型止水シート
「止めピタ・フロントタイプ」



簡易型止水シート
「止めピタ・シャッタータイプ」



「止水板付シャッター」



「脱着式止水板」



「シート式止水板」

止水事業の取り組み強化

- ・今年の夏に全国で発生したゲリラ豪雨の件数は、昨年比べて2.7倍と大幅に増加。
- ・建物用途に柔軟に対応する浸水対策のソリューションとして、「簡単・スピード設置」を特徴としたオリジナル止水商品のバリエーション拡充に注力。
- ・今年10月、既設の建物のフロントに設置できる「止めピタ・フロントタイプ」を発売したのに続き、11月には新設の建物向けに、止水シートを標準装備した止水・耐水フロントを発売。
- ・激変する自然環境に対応したソリューションを提供する「止水事業」の取り組みを強化することで、通期は売上高4億円、受注高5億円をめざす。



ゲリラ豪雨の発生により雨水の排水能力が限界を超え、下水がマンホールから溢れ出る様子

参考資料

文化シャッターグループ概要

- 経営理念 「常にお客様の立場に立って行動します」
「優れた品質で社会の発展に貢献します」
「積極性と和を重んじ日々前進します」
- 概 要 文化シャッター株式会社及び子会社15社
- 事 業 シャッター事業、ビル建材・住宅建材事業、リフォーム事業、
保守・点検・サービス事業、他
- 拠 点 277営業拠点 119サービス拠点 21工場
- 従業員数 3,359名(2013年9月末現在)

【文化シャッター株式会社(単体)】

代表者 代表取締役社長 執行役員社長 茂木 哲哉
設 立 1955年(昭和30年)4月18日
資本金 15,051百万円
本 社 東京都文京区西片1-17-3

文化シャッターグループの構成と海外事業展開

文化シャッター株式会社

シャッター関連製品事業

「電動開閉機」製造・販売

新生精機 株式会社

「オーニング」製造・販売

株式会社 テンパール

「シャッター」製造・販売

BX沖縄文化シャッター
株式会社

不二サッシ株式会社：持分法適用会社
株式会社エコウッド：関連会社

建材関連製品事業

「ドア」「パーティション」製造

BX文化パネル
株式会社

「ドア」「スライディングウォール」
製造・販売

ティール建材
株式会社

「ドア」製造

BXケンセイ 株式会社

BX鐵矢 株式会社

BX東北鐵矢 株式会社

BX朝日建材 株式会社

「ステンレス建材」製造・販売

BX紅雲 株式会社

サービス事業

「保守・点検」「修理加工」

文化シャッターサービス
株式会社

その他事業

「注文家具」製造・販売

BX文化工芸 株式会社

損害保険代理業

あいわ保険サービス
株式会社

リフォーム事業

住宅向けリフォーム事業

ゆとりリフォーム
株式会社

海外事業展開

「シャッター」「ドア」「オーニング」
製造、販売

BX BUNKA VIETNAM

(ベトナム)

「各種シャッター製品」
販売・メンテナンス

BX BUNKA TAIWAN

(台湾において2013年12月より
事業開始予定)

～海外企業との技術提携～

ベルギー「ダイナコ社」

1999年より高速シートシャッター
「エア・キーパー大間迅」を発売



※BXブランドの浸透を図るため、2013年10月より「BX沖縄文化シャッター」「BX文化パネル」「BXケンセイ」「BX鐵矢」「BX東北鐵矢」「BX朝日」「BX文化工芸」「BX BUNKA VIETNAM」の6社が、「BX」を冠した社名に変更。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2013年3月期		2014年3月期上期		増 減	
		構成比		構成比		前期末比
流動資産	62,011	64.8%	63,246	64.5%	1,235	102.0%
現金・預金	16,113	16.8%	20,676	21.1%	4,563	128.3%
受取手形・売掛金	30,637	32.0%	26,801	27.3%	△ 3,836	87.5%
たな卸資産	11,731	12.3%	12,329	12.6%	598	105.1%
その他	3,530	3.7%	3,439	3.5%	△ 91	97.4%
固定資産	33,672	35.2%	34,785	35.5%	1,113	103.3%
土地	8,495	8.9%	8,494	8.7%	△ 1	100.0%
投資有価証券	8,479	8.9%	9,045	9.2%	566	106.7%
その他の投資・資産	2,801	2.9%	2,789	2.8%	△ 12	99.6%
その他	13,897	14.5%	14,457	14.7%	560	104.0%
資産合計	95,684	100.0%	98,031	100.0%	2,347	102.5%
流動負債	37,046	38.7%	34,761	35.5%	△ 2,285	93.8%
支払手形・買掛金	21,692	22.7%	20,613	21.0%	△ 1,079	95.0%
短期借入金	1,800	1.9%	1,800	1.8%	0	100.0%
その他	13,554	14.2%	12,348	12.6%	△ 1,206	91.1%
固定負債	19,359	20.2%	19,192	19.6%	△ 167	99.1%
長期借入金	1,280	1.3%	880	0.9%	△ 400	68.8%
退職給付引当金	16,328	17.1%	16,495	16.8%	167	101.0%
その他	1,751	1.8%	1,817	1.9%	66	103.8%
負債合計	56,406	59.0%	53,953	55.0%	△ 2,453	95.7%
純資産合計	39,278	41.0%	44,077	45.0%	4,799	112.2%
負債・純資産合計	95,684	100.0%	98,031	100.0%	2,347	102.5%

1株当たり株主資本 597円76銭
 期末株価 474円
 PBR(株価純資産倍率) 0.79

614円70銭
 507円
 0.82

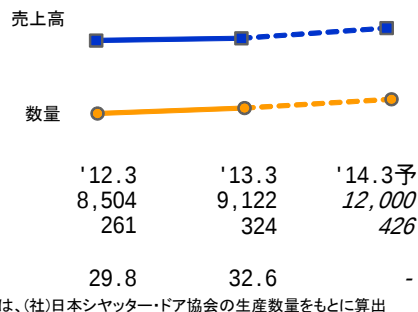
連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2013年3月期 上期	2014年3月期 上期	増減
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,322	3,290	△ 32
税金等調整前当期純利益	2,282	2,879	597
減価償却費	728	764	36
売上債権の増減額(△は増加)	5,456	3,835	△ 1,621
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 2,610	△ 1,078	1,532
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 1,538	△ 580	958
法人税等の支払額	△ 975	△ 2,402	△ 1,427
その他	△ 21	△ 128	△ 107
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	360	△ 635	△ 995
投資有価証券の売却による収入	17	1	△ 16
投資有価証券の取得による支出	△ 16	△ 2	14
有形固定資産の売却による収入	390	5	△ 385
有形固定資産の取得による支出	△ 287	△ 859	△ 572
無形固定資産の取得による支出	△ 58	△ 136	△ 78
その他	314	356	42
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,077	1,933	3,010
長短期借入金の増減額	△ 623	△ 400	223
配当金の支払額	△ 262	△ 394	△ 132
その他	△ 192	2,727	2,919
4. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,597	4,542	1,945
5. 現金及び現金同等物の期首残高	13,956	15,722	1,766
6. 現金及び現金同等物の期末残高	16,554	20,264	3,710

シャッター関連製品の状況（主要製品）

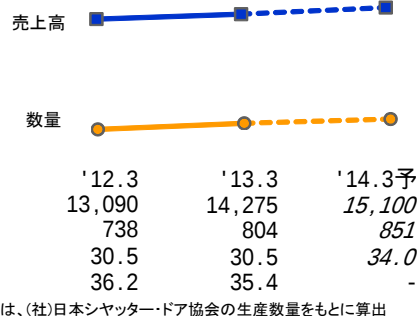
<重量シャッター>



◆2014. 3上期は、主に物流倉庫、大型商業施設向けが好調に推移した結果、売上高は前年同期比136. 7%と大幅に増加。

◆2014. 3期は、採算重視を前提とした積極的な受注活動の継続により、売上高は前期比131. 6%の120億円を計画。

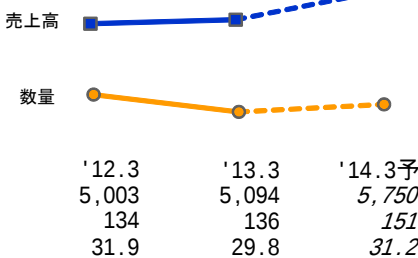
<軽量シャッター>



◆2014. 3上期は、前上期の爆弾低気圧と台風の影響による減収分を、ガレージ向け電動タイプがカバーしたことで、売上高は前年同期比100. 8%と微増。

◆2014. 3期は、新設住宅着工戸数の回復と、増改築に伴う電動タイプの取り替え需要を見込み、売上高は前期比105. 8%の151億円を計画。

<窓シャッター>



◆2014. 3上期は、新設住宅着工戸数が回復した影響もあり、売上高は前年同期比112. 4%と二桁の増加。

◆2014. 3期は、堅調な住宅市場を背景に、電動化の推進と自然災害から身を守る防災商品としての提案を進めることで、売上高は前期比112. 9%の57億円を計画。

建材関連製品の状況（主要製品）

<ドア>

売上高



	'12.3	'13.3	'14.3予
売上(百万円)	22,026	26,110	29,100



- ◆2014. 3上期は、文教施設、オフィスビル向けが好調に推移したことで、売上高は前期比 112. 8%と大幅に増加。
- ◆2014. 3期は、受注残高が増加している医療福祉施設向けの引き戸や大型商業施設向けのスチールドアを中心に、採算重視の受注活動を継続することで、売上高は前期比111. 5%の291億円を計画。

<パーティション>

売上高



	'12.3	'13.3	'14.3予
売上(百万円)	6,805	7,061	7,800



- ◆ 2014. 3上期は、文教施設、大型商業施設向けが好調に推移したことで、売上高は前年同期比123. 2%と増加。
- ◆ 2014. 3期は、引き続き大型商業施設向けの受注拡大を図ることで、売上高は前期比 110. 5%の78億円を計画。

<エクステリア>

売上高



	'12.3	'13.3	'14.3予
売上(百万円)	6,583	6,797	7,200

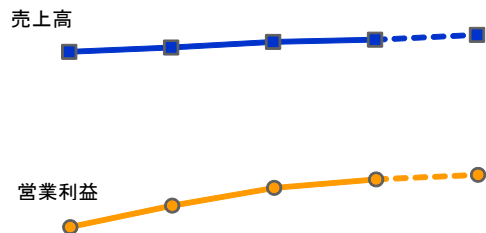
※横引雨戸を含めた金額で表示しています。



- ◆2014. 3上期は、新設住宅着工戸数の回復もあり、売上高は前期比104. 0%と増加。
- ◆2014. 3期は、エコ建材「テクモク」の拡販を図ることで、売上高は前期比105. 9%の72億円を計画。

サービス事業およびリフォーム事業の状況

<サービス事業>



	'10.3	'11.3	'12.3	'13.3	'14.3予
売上高(百万円) (保守・点検、修理加工)	11,032	12,049	13,358	13,879	14,000
営業利益(百万円)	263	792	1,230	1,437	1,400
営業利益率(%)	2.4	6.6	9.2	10.4	10.0

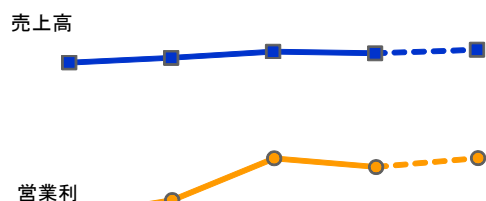
◆2014. 3上期は、修理及び保守点検が堅調に推移したことで、売上高は前年同期比102. 0%と微増。

◆2014. 3期は、防災気運の高まりを受け、製品を安心・安全かつ快適にお使い頂くために、安全性を高めた装置の設置と、保守点検契約の提案を積極的に推し進めることで、売上高は前期比100. 9%の140億円を計画。



保守点検の様子

<リフォーム事業>



	'10.3	'11.3	'12.3	'13.3	'14.3予
売上高(百万円)	8,506	9,047	9,758	9,573	10,400
営業利益(百万円)	88	192	449	395	500
営業利益率(%)	1.0	2.1	4.6	4.1	4.8
店舗数	26	23	22	21	

◆2014. 3上期は、追加工事が不要なパッケージ型商品「超安心価格」の拡販と、リピートオーダー率が50. 8%と前上期に比べて3. 5ポイント改善したことで、売上高は前年同期比108. 7%と増加。

◆2014. 3期は、「超安心価格」の商品バリエーションの拡充と、リピート受注を強化していくことで、売上高は前期比108. 6%の104億円を計画。

東証一部上場 文化シヤッターグループ リフォーム専門会社

ゆとりフォーム

スーパー 超安心価格
増設価格で工事できる、追加料金一切なし



パッケージ型の定額リフォーム商品「安心価格」に加え、追加工事が不要な「超安心価格」の拡販を推進中

問い合わせ

問い合わせ先

文化シャッター株式会社 経営企画部広報室 曾根、小林

TEL03-5844-7150 FAX03-5844-7141

E-mail bxinfo@mail.bunka-s.co.jp

<http://www.bunka-s.co.jp/>